



2026～2027年度 山形東ロータリークラブ会報

第1699回例会 2026年8月7日(金)

点鐘／12:30 S.A.A.／平吹 幸治郎

ロータリーソング／4つのテスト 会場／ホテルメトロポリタン山形



RIテーマ RI会長：オラインカ・ハキーム・ババロラ
CREATE LASTING IMPACT 持続可能なインパクトを生み出そう

地区目標 ガバナー：伊藤 修二
Sustainable RID 2800 地域の絆で明日に繋ぐ

クラブテーマ 会長：荻野 武好 幹事：深瀬 俊路
みんなで助けあおう みんなで支えあおう

会長挨拶



荻野会長挨拶

皆さんこんにちは。今日のゲストをご紹介致します。地区青少年交換委員会の大泉みどりさんです。前期6月12日の例会で卓話をいただきました。東クラブがホストクラブとして、アンディさんが来週13日に山形に到着します。先週の太田青少年交換委員長に引き続き、交換留学生受け入れに際しての留意点をお話していただきます。よろしくお願い致します。

今日の会長挨拶ですが、私共の会社はあこや町にあります。この「あこや」の話をさせていただきます。ご存じの方もたくさんいらっしゃると思いますが、「あこや姫」の伝説をお話します。これは、あくまでも伝説ですのであしからず。

現在の宮城県、陸奥の郡司に藤原豊充（藤原鎌足のひ孫）という人がおりました。豊充には美しく詩や琴に優れた「阿古耶」という姫がおりました。ある時、琴を奏でているとそれに合わせるように笛の音が聞こえ、松の前で若者が笛を吹いており、名取左衛門太郎と名乗りました。太郎は阿古耶が琴を弾くたびに現れ、二人は恋に落ちていったのです。そんなある日、沈んだ表情で現れた太郎は、自分は最上の国の千歳山の老松なのだが、名取川（現在の宮城県）の橋が流され、橋を架け替えるため切られることになったと打ち明け、姫に別れを告げ姿を消してしまいました。老松は切り倒され運ぼうとしたがびくともしない。「阿古耶姫の手を借りれば動かすことができる」との託宣があり、阿古耶姫に来てもらい、切り倒された老松、太郎の松に涙ながら触れたところ、松は動き出し、峠まで運ばれると太郎が阿古耶に自分の供養をしてくれるよう囁いた。ここから、ささやき峠、ささや峠と呼ばれるようになったと、言われています。阿古耶姫の後日談はいろいろありますが、今日はこの辺で終わります。

幹事報告

- 上期年会費が未納の会員がいますので速やかに納入ください。
- 13日に青少年交換留学生のアンディさんが夕方6時の便で山形空港に到着予定です。
- 26日のロータリーデー清掃活動に13名の会員から申し込みがありました。早朝5時半の集合です。



深瀬幹事報告

クラブ卓話

『青少年交換留学生について』
大泉みどり青少年交換委員会委員



ニコニコBOX

荻野 武好：大泉さん 卓話ありがとう
白田 圭一：様々な記念日に
白田 廣司：誕生日です
武田 正男：大泉さんの訪問を歓迎して
中川 善雄：8月生まれです
深瀬 俊路：誕生日、結婚記念日

出席情報

	会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日	28名	—	15名	—